

## 【草花の部屋】

### セイヨウオダマキ (キンポウゲ科オダマキ属 *Aquilegia vulgaris*)

**和名**：セイヨウオダマキ (西洋苧環) **別名**：アキレギア (*Aquilegia*)、アクイレギア

**英名**：Columbine, European crowfoot

キンポウゲ目 多年草

**原産地**：ヨーロッパ、アメリカ

**花言葉**：必ず手に入れる、愚か、断固として勝つ

(紫) 勝利への決意、捨てられた恋人

(赤) 素直

(白) あの方が気がかり、正義、的確↓

**花の色**：赤・桃・青紫・黄・白・黒・複色(花の先端が白いものもある)



← **写真-1** セイヨウオダマキの葉

撮影日：2013年7月10日

撮影場所：ポント・レジーナ

(スイス)にて

撮影者：M さん



← **写真-2** セイヨウオダマキの花 (紫)

撮影日：2013年7月10日

撮影場所：ポント・レジーナ (スイス)にて

撮影者：M さん

ポント・レジーナのホテルの前庭とソーリオ村で見つけました。日本種のオダマキに比べて華やかさがあります。現在の日本で西洋オダマキと呼ばれているものは、ヨーロッパ原産のアクレギア・ブルガリス (*Aquilegia vulgaris*) と北米産の大輪の花を咲かせ

る数種との交配種をさすようになっているそうです。

オダマキの仲間はもともと雑種をつくりやすいこともあって、きわめて多数の園芸品種があり、多くの場合、国内では個々の品種名を明記せずに色別や混合種子の形で流通しているそうです。

→ **写真-3** セイヨウオダマキの花（赤・複色）

撮影日：2013年07月11日

撮影場所：ソーリオ村（スイス）にて

撮影者：M さん



↑ **写真-4～6** セイヨウオダマキの花（白、黄、桃・複色）

撮影日：2016年5月27日

撮影場所：モネの家（フランス～ジヴェルニー）にて

撮影者：M さん



← **写真-7** セイヨウオダマキの花（青紫）

撮影日：2016年6月1日

撮影場所：モン・サン・ミッシェル

（フランス）にて

撮影者：M さん

セイヨウオダマキは丈夫な宿根草で、高さ30～50cmになり、株の中心からまっすぐ伸びた茎に赤、黄、青紫、白、桃色などの4～5cmの花を多数咲かせます。2回3出複葉

が根元にまとまって(根出葉)つきます。長く栽培されてきたため白花や桃色、赤紫、黒紫色など花色の変異が豊富。

日本にはヤマオダマキとミヤマオダマキの2種が山地から高山にかけて分布しているようで、ミヤマオダマキはむしろ山野草として栽培されているようです。花の外側の花弁のようなものは、実は花弁ではなく「萼(がく)」、花弁はその内側にあって、ややまとまって筒状になっている部分。花弁の基部からは角状の「距(きょ)」が伸び、萼の間から突き出る。

<ちょっと一言>

全草が有毒なので要注意。プロトアネモニン(protoanemonin)を含み、皮膚炎(水疱)、胃腸炎、心臓麻痺を起すそうです。



ミヤマオダマキ (キンポウゲ科オダマキ属)  
*Aquilegia flabellata* var. *pumila*

← 写真-8 ミヤマオダマキ (青紫)

撮影日：2004年4月18日

撮影場所：自宅(大和郡山市)にて

撮影者：M さん

和名：ミヤマオダマキ (深山苧環)